

熊本大学大学院法曹養成研究科  
平成26年度第4期募集 法律科目試験問題

## 民事訴訟法

平成26年2月22日(土) 15:15~16:00

### 解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答は横書きにして下さい。解答用紙の追加・交換はしません。
5. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
6. 問題の内容に関する質問には応じません。
7. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【問題】以下の事例を読んで、問いに答えなさい。(配点：40点)

Aは、Bの運転する自動車にはねられ重傷を負ったと主張して、Bの運転ミスを理由に、Bに対して不法行為に基づく損害賠償請求訴訟を提起した。それに対し、Bは、本件事故について、Aの主張している事故の具体的原因たる酒酔い運転については否認しているものの、Aの重傷について自己の過失を認める旨の陳述をした。

このBの陳述には裁判所およびB自身に対する拘束力があるか(各拘束力の中身およびそれをめぐる見解の対立に言及して論じなさい)。

以上